

バリバリ食べるとおいしいきゅうりをつくりましょう!



つくった人だけがわかる喜びがある!

ここがポイント!

- ◎ 苗は本葉4~5枚でがっちりして、根が十分張ったものを選ぶ
- ◎ 乾燥に弱いので水やりには注意
- ◎ ベト病、うどんこ病に注意



1.5kgで通常の堆肥の15kg分の効果がある「固形濃縮堆肥」がおすすめ。

1. 土づくり。

元肥 1株あたり 約80g

植付け2週間前に 苦土石灰100g/m²を 土とよく混ぜておきます。

植付けの5~7日前にたい肥3kg/m²と『きゅうりの肥料』を元肥として土とよく混ぜます。

整枝(白イボ系)。

親づる
孫づる
子づる

6節位から上に出る子づるは葉を2枚残して、その先を摘芯する。

下の方から出る子づるは付け根から摘み取る。

2. 植付け。

仮支柱

苗は風のない日の午前中に植えます。

6. 収穫。

・ 開花後7~10日で収穫できます。

・ 1果18~20cm位が標準で、大きすぎると草勢が弱ります。

5. 整枝(黒イボ系)。

親づるは摘芯しないで伸ばす。

下の方から出る子づるを2~3節で摘芯する。

3. 支柱立て。

本葉5~6枚の頃、支柱を立てます。きゅうりのつるは自分では支柱にからまないの、30~40cm伸びるごとにヒモで支柱にしばってやります。支柱の代わりネットを利用しても良いでしょう。

4. 敷きわら。

病害予防に梅雨入り前に敷きわらなどをして土のはね返りにつかないようにします。

朝日工業株式会社
http://www.asahi-kg.co.jp